

伊香具地区防災計画策定事業に取り組んでいます。

令和6年度版伊香具地区防災計画ができました。

安心・安全 ええとこやなあ 伊香具
みんなであつくりいきましょう！

地域の住民が行う自発的な防災活動等について策定する計画です。

自分たちの地域の人命と財産を守るために、主に**共助(助け合い)**について定めた計画のことをいいます。大規模広域災害に備え、自助・共助の割の役割が高まっています。一方で全国的に従来、地域防災力向上のため活躍してきた消防団、自主防災組織等は、少子高齢化等社会の変化に伴い活動人員の減少や組織の改編等で従来の期待した活動が困難になる問題が発生してきました。そこでこのような状況を踏まえ、地域コミュニティにおける**共助**の防災活動を強化する必要性が検討されました。平成25年の災害対策基本法の改正で地域コミュニティにおける「共助」を推進するために制度が創設されました。地区防災計画の策定により**住民一人ひとりの防災意識や地域住民間の共助の意識を向上させる**とともに、**自主防災組織をパワーアップ**することが目的の計画です。

当、伊香具地区においても昨年の令和6年よりこの計画策定に取り組んできました。連合自治会長を主体とした会議等を重ねました。各自治会の防災力を高め、災害が発生した時はその力で被災した地区を**助け合う伊香具の防災組織**を作ることが目的です。その結果、11月16日(土)で第一回目の合同防災訓練が開催されました。いままでの消防団は行政の指揮下におかれましてので、自主防災組織での伊香具合同防災訓練は初めてとなりました。訓練内容は初回でもあり「通報・集合」をメインとした部分的訓練でした。伊香具防災連絡手段としてラインの開設をし、各自治会長などの役員間の連絡網を整備しました。訓練結果は満足のいくものではなく、反省点もありました。失敗から学び次回は改善、改良していきたいと思っています。

しかし、まず**第一歩が踏み出せたことに大きな意義**があったと思います。



この計画は約50ページ以上あります。各戸には配付できませんでした。各自治会長に配付しましたのでご関心のある方はご覧になってください。来年度以降は令和6年度版をベースとしてファイル形式で内容を増強していきます。この計画の内容は

- 1・ 計画対象地区の範囲
- 2・ 基本的な考え方
- 3・ 地区の特性
- 4・ 防災活動の内容
- 5・ 実践の検証
- 6・ 今後の活動のイメージ
- 7・ 実際の活動記録

資料 各地区の防災福祉マップと住民アンケート結果



11月16日の伊香具合同防災訓練
大音で開催されました。約30名の参加。
連合自治会長である藤田防災対策本部長の挨拶。



長浜市社会福祉協議会の柴田様
と大音給食・給水班の方による
災害時非常食の実演。



清水伊香具防災リーダーの救助訓練
ジャッキを使つての救出指導。

伊香具地区に防災士誕生！

地区第一号は伊香具防災リーダーの清水英雄さんです。令和7年には少なくとも5人の防災士が活動予定です。各自治会に1名以上防災士の資格を持ち活躍してもらうことが理想です。

防災士とは

1995年に発生した阪神・淡路大震災の教訓から「事前の防災対策」と「災害発生時の応急対応」の両面について全国的な備えが必要になりました。そこで、地域防災力の向上を担う新しい民間の防災リーダーを飛躍的に拡大・養成することをめざして、特定非営利活動法人日本防災士機構が設立されました。2003年10月に防災士制度がスタートしました。

地域の防災力向上のためには、一人ひとりが防災のことを考え、安全を確保しなくてはなりません。その実現のためには、防災について十分な意識と一定の知識・技能を身につけた者が中心となって、地域社会や職場などの全体で力を合わせて対策を講じることが必要であり有効となります。このようなことから阪神・淡路大震災を教訓として「人」という資源活用を高めるために防災士制度が生まれました。

防災士の数は直近で全国で30万6,304人で滋賀県は全国の1%数値県にたがわず、3,600人です。しかし全国で「日本防災士会」の会員は9,277名です。資格マニアが多い？資格は取ったけど活動不足の防災士は圧倒的に多いのが現状です。日本防災士会滋賀支部の加入者も少ないです。滋賀県で7ブロックありますがまだ湖北単独にはなっておりません。今後、湖北で防災士増加に伴い単独で湖北ブロック立ち上げが重要となってきます。

伊香具地区 地域づくり協議会 ホームページより

最近の情報を抜粋して記載しました。どうぞご覧になってください。また皆様の情報をお待ちしてしております。

2025年2月7日掲載

スマホ相談会を開催しました。

赤尾集会所および北布施集会所において、1月23日および30日に「スマホ相談会」を開催しました。今日、デジタル社会が進展する中、スマホの利用は、災害などの緊急時の情報収集、健康管理、支払いなど日常生活の利便性を向上させるうえで私たちの生活に欠かせない道具となっております。そこで、スマホは持っているが使い方がよくわからないという方々の為に、地域づくり協議会、社会福祉協議会および(株)平和堂の共催で長浜市デジサポ隊の方々に講師として来ていただきました。次年度は他の地区でも順次開催予定です。皆様方の参加をお待ちしております。

2025年2月8日掲載

お楽しみ弁当を配食しました。

1月29日(日)今年も伊香具地区の独居老人の方や老人世帯の方に「お楽しみ弁当」をお届けしました。お弁当作りは、日赤奉仕団の方々にお世話になりました。また配食は各自治会の民生児童委員の方にお世話になりました。みなさんからは「いつも心待ちにしている」、「大変おいしい」と大変好評で感謝の言葉をいただきました。次回の「お楽しみ弁当」は3月26日(日)の予定です。



令和6年の地区防災計画策定の取り組み

1月21日	アンケート回収	総務
2月上旬まで	アンケート分析・まとめ	総務
2月中旬まで	地区防災素案作成	総務
	素案検討	事務局・総務
2月中旬ごろ	講座事前うち合わせ	笠原先生
	長浜市市役所予定	行政の方
		事務局・総務
2月下旬	素案の修正	事務局・総務
3月2日	第3回防災講座	笠原先生
4月21日	伊香具地区定期総会	
5月15日	第4回笠原先生防災講座と第2回総務定例会議	約20名参加
7月18日	第5回防災講座と第3回総務定例会議	
8月19日	電話での連絡網作成 (災害対策本部 と 各自治会長間)	
9月19日	第6回防災講座と第4回総務定例会議	第1回伊香具合同防災訓練について 実施概要 実施時期 防災ライン設定
10月24日	連自治会長・伊香具防災リーダー・ 総務による合同訓練打ち合わせ	
11月5日	連自治会長・伊香具防災リーダー・ 総務による合同訓練打ち合わせ	
11月16日	第一回伊香具合同防災訓練	
11月25日	訓練アンケート回収	
令和7年		
2月14日	第7回防災講座と第5回総務定例会議	

